

特集

ラテンアメリカの アルコール飲料産業

M&Aと産業再編

ラテンアメリカにおいてアルコール飲料産業は地場資本の牙城と考えられてきた。例えばビール産業は、輸入代替工業化期に成長を遂げた民族系大企業グループの主要活動業種で、グループ傘下の大企業により寡占的に支配されてきた。そのアルコール飲料産業が1990年代以降活発化した域内・域外の大資本によるM&Aによって、大きく構造を変えようとしている。本特集では、メキシコ、ブラジル、ベネズエラ、チリ、ペルーにおけるアルコール飲料産業の再編の実態を紹介する。

(AP / WWP)

